

第29回(2016年度)
名古屋大学宇宙地球環境研究所年代測定研究シンポジウムプログラム
(第5版)

日時 平成29年1月30日(月) 10:30~18:00(受付開始:10:00)
平成29年1月31日(火) 10:00~15:25

【1月30日(月)】

10:30-10:35 開会の挨拶
榎並正樹(名大・宇地研)

○施設報告

(座長:榎並正樹)

10:35-10:50 名古屋大学タンデトロン AMS¹⁴C システムの現状と利用(2016)
中村俊夫・南雅代・増田公明・小田寛貴・池田晃子・栗田直幸・窪田薫・西田真砂美(名大・宇地研)・椋本ひかり・藤沢純平・方雨婷(名大・院環境)・徳丸誠(名大・理)・酢屋徳啓(放医研)・北川浩之(名大・宇地研)

10:50-11:05 CHIME 年代測定システムの現状と利用(2016)
加藤文典・榎並正樹・奈良郁子・吉田澪代(名大・宇地研)

○一般講演 セッション1

(座長:中村俊夫)

11:05-11:25 「院政期書写」の仮名古屋筆切の¹⁴C年代測定
小田寛貴(名大・宇地研)・池田和臣(中央大・文)

11:25-11:45 火葬古人骨の炭酸ヒドロキシアパタイトを用いた年代測定と食性解析
椋本ひかり(名大・院環境)・南雅代(名大・宇地研)・若木重行(JAMSTEC・高知コア研究所)・中村俊夫(名大・宇地研)

○活動報告1

・研究機関研究員活動報告

(座長:小田寛貴)

11:45-12:00 チベット・プマユマツォ湖周辺岩石の¹⁰Be 露出年代値
奈良郁子(名大・宇地研)

休憩

○特別講演

(座長：榎並正樹)

13:00 – 14:00 高圧・超高压変成岩のフェンジャイト K-Ar 年代学

板谷徹丸 (蒜山地質年代学研究所)

(座長：加藤丈典)

14:00 – 14:30 鈴木和博先生を偲ぶ：微小領域微量分析から CHIME へ

榎並正樹 (名大・宇地研)

休憩

○一般講演 セッション2

(座長：榎並正樹)

14:45 – 15:05 Ti 濃度定量による結晶化温度と U-Pb 年代から導く花崗岩中のジルコンの形成プロセス：土岐花崗岩体の三次元的な形成プロセスの推定

湯口貴史 (山形大・理)・加藤丈典 (名大・宇地研)

15:05 – 15:25 グリーンランド・イスア表成岩帯の石墨片岩中に含まれるモナザイトの CHIME 年代測定

大友陽子 (北大・工), 加藤丈典 (名大・宇地研)

15:25 – 15:45 非拡張型不感時間近似が可能な EPMA 用高確度不感時間補正

加藤丈典 (名大・宇地研)

(座長：加藤丈典)

15:45 – 16:05 JAEA 東濃地科学センターの JEOL FE-EPMA JXA-8530F を用いた鉱物分析と年代測定

清水麻由子・佐野直美 (日本原子力研究開発機構・東濃地科学センター)・鈴木和博 (名大・宇地研)

16:05 – 16:25 松山 - ブリュンヌ地磁気逆転期とテクタイト衝撃形成期の年代学的比較研究

浅原良浩 (名大・院環境)・Lee Seung-Gu (韓国地質資源研究院)・南雅代 (名大・宇地研)・Choi Jisu・長尾敬介 (韓国極地研究所)・田中剛 (名大・宇地研)

休憩

○活動報告2

・研究機関研究員活動報告

(座長：北川浩之)

16:35 – 16:50 酸素同位体プロキシ解釈の高度化にむけた取り組みとその将来展望

栗田直幸 (名大・宇地研)

16:50 – 17:05 岩手県船越湾に生息する長寿二枚貝殻を利用した古環境・炭素循環研究

窪田薫 (名大・宇地研)

・体験学習活動報告

(座長：加藤丈典)

17:05 – 17:20 年代測定研究部主催「平成 28 年度名古屋大学地域貢献事業：樹木年輪と年縞堆積物から過去の太陽活動、地球の古環境を探る」活動報告
南雅代 (名大・宇地研)・北川淳子 (福井県里山里海研究所)・小島秀彰 (若狭三方縄文博物館)・榎並正樹・加藤丈典・三宅英沙・池田晃子・窪田薫・吉田漣代 (名大・宇地研)・椋本ひかり・藤沢純平 (名大・院環境)・徳丸誠 (名大・理)・北川浩之 (名大・宇地研)

○ポスターセッション コアタイム 17:30 – 18:00

塩基性炭酸銅・緑青・孔雀石の自己分解温度と ^{14}C 年代測定に最適な緑青の分解温度

小田寛貴 (名大・宇地研)・山田哲也 (元興寺文化財研究所)・塚本敏夫 (元興寺文化財研究所)・加藤丈典 (名大・宇地研)

顕微鏡観察と書誌学的考察によるツレ判定を併用した古筆切の間接的 ^{14}C 年代測定

小田寛貴 (名大・宇地研)・安 裕明 (多賀高等学校)・坂本昭二 (龍谷大・古典籍デジタルアーカイブ研究センター)・池田和臣 (中央大・文)

韓国の主な地質における空間線量率分布

田中剛 (名大・宇地研)・Lee Seung-Gu・Kim Kyu Han (韓国地質資源研究院)

大学院理系研究室のマネジメント

谷口勇仁 (北大・院経済)・小田寛貴 (名大・宇地研)

九州および韓国沿岸の完新統中の貝と植物の放射性炭素年代値の差異

中西利典 (福岡大)・ホン ワン (KIGAM)・奥野充 (福岡大)

インドネシア・バリ島, ブヤン-ブラタン火山の後カルデラ火山の噴火史

奥野充 (福岡大)・Agung Harijoko・I Wayan Warmada (ガジャ・マダ大)・渡邊公一郎 (九州大)・中村俊夫 (名大・宇地研)・田口幸洋 (福岡大)・小林哲夫 (鹿児島大)

○懇親会

研究所共同館 II 2 階

18:30 – 20:30

【1月31日（火）】

○一般講演 セッション3

（座長：南雅代）

- 10:00 – 10:20 北海道厚真川流域の沖積層の堆積相解析・微化石解析・AMS¹⁴C年代測定に基づく堆積曲線および相対的海水準曲線の復元
岡孝雄（株北海道技術コンサルタント）・近藤務（石狩沖積低地研究会）・中村俊夫（名大・宇地研）・安井賢（甲賀地盤調査）・星野フサ（北海道大学総合博物館）・米道博（北海道道路エンジニアリング株）・山崎芳樹（株北開測地）・関根達夫（株北海道技術コンサルタント）・若松幹男（山の手博物館）・赤松周平（株ユニオンコンサルタント）・乾哲也（厚真町教育委員会）
- 10:20 – 10:40 AMS¹⁴C年代測定および花粉分析に基づく石狩低地帯南部厚真地域の後期更新世～完新世古気候変遷の解明
星野フサ（北海道大学総合博物館）・中村俊夫（名大・宇地研）・岡孝雄（株北海道技術コンサルタント）・近藤務（石狩沖積低地研究会）・安井賢（甲賀地盤調査）・米道博（北海道道路エンジニアリング株）・関根達夫（株北海道技術コンサルタント）・山崎芳樹（株北開測地）・若松幹男（山の手博物館）・赤松周平（株ユニオンコンサルタント）
- 10:40 – 11:00 AMS¹⁴C年代測定及び花粉分析に基づく札幌市豊平川流域の支笏火砕流噴出前の古環境の考察
関根達夫（株北海道技術コンサルタント）・星野フサ（北海道大学総合博物館ボランティア）・前田寿嗣（札幌市立藤野中学校）・岡孝雄（株北海道技術コンサルタント）・近藤務（石狩沖積低地研究会）・米道博（北海道道路エンジニアリング株）・山崎芳樹（株北開測地）・赤松周平（株ユニオンコンサルタント）・若松幹男（山の手博物館）

（座長：北川浩之）

- 11:00 – 11:20 福島第一原発事故に伴う福島県の放射性物質の汚染---2016年の状況---
千葉茂樹（福島県立小野高等学校平田校）・諏訪兼位（名大）・鈴木和博（名大・宇地研）
- 11:20 – 11:40 福島第一原発事故、汚染の現状と除染の課題
千葉茂樹（福島県立小野高等学校平田校）
- 11:40 – 12:00 火山体崩壊に起因する火山災害軽減のためのパイロット研究：Sr同位体比から見えてきた巨石の天然記念物の起源
佐藤興平（気象大）・南雅代・鈴木和博（名大・宇地研）・柴田賢（元名大・年測）
- 12:00 – 12:20 水試料の放射性炭素濃度の相互比較と前処理手法の検討：RICE-Wプロジェクト
高橋浩（産業技術総合研究所地質調査総合センター）南雅代（名大・宇地研）
荒巻能史（国立環境研究所地球環境研究センター）

休憩

○特別講演

(座長：南雅代)

13:30 – 14:30 韓国地質資源研究院の加速器質量分析システムの紹介
北川浩之 (名大・宇地研)

○一般講演 セッション4

(座長：加藤丈典)

14:45 – 15:05 日本産樹木年輪 ^{14}C 年代データの IntCal13 との比較と活用
中村俊夫・増田公明・三宅芙紗 (名大・宇地研)・箱崎真隆 (国立歴博)

15:05 – 15:25 年代測定研究部における AMS 測定試料の前処理技術開発-現況報告と将来展望-
南雅代 (名大・宇地研)

発表者の皆様へ

○口頭発表

一般講演の発表時間は 20 分で施設報告、活動報告及び加速器利用説明の発表時間は 15 分です。(いずれも質疑応答、交代時間を含みます)。

Microsoft PowerPoint がインストールされたコンピューター (Windows 及び MacOS) を用意します。ご自身のコンピューターを使用していただくことも可能です。

○ポスター発表

研究所共同館 II 2 階のポスターボードを使用してください。

コアタイムは 1 月 30 日 17:30 – 18:00 です。

1 月 31 日のシンポジウム終了後に未撤収のポスターは破棄します。